

競技注意事項

- 1 競技は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則、日本マスターズ陸上競技連合競技規則及び本大会実施要項により行う。
特に、不正スタートした競技者は、すべて失格とする。
- 2 招集については次のとおり。
招集所は100mスタート付近スタンド下。
トラック競技は、競技開始時刻20分前に始め同10分前に終了する。
フィールド競技は、競技開始時刻30分前に始め同20分前に終了する。
複数種目に出場する等の場合は、招集時刻前での招集を認めるので招集所に申し出ること。
なお、上記の競技開始時刻とはプログラム記載の「競技時刻」をいう。
- 3 トラック競技は全てタイムレース決勝とし、同タイムの場合は年長者を上位とする。
走高跳以外のフィールド競技の試技数は各クラスのトップ8(同記録の者が複数ある場合はそのすべて)を決めるまでは3回とし、トップ8による4回目以降の試技数は1回とする。競技進行上、4回目の試技順もプログラム記載の番号順とする。
- 4 トラック競技のレースは、複数の年齢区分で同時スタートする場合がある。
- 5 走高跳においてジャンプオフ(第1位決定戦)は行わず当該競技者すべて1位とする。
- 6 砲丸・円盤・やりの検定は、競技開始20分前に投てき場にて行う。
- 7 競技場外での投てき練習は禁止。招集終了後、競技場内投てき場にて審判員の指示で練習する。
- 8 更衣室は使用できるが、所持品の管理は各自の責任とする。
- 9 各自が使用した場所は責任をもって清掃し、ゴミ等は持ち帰ること。
- 10 各クラス3位までの入賞者は、競技終了後1時間を目処に本部にて賞状を受け取ること。

主催者は賞状を送付しない。但し、受付で角形2号封筒を300円(送料+手数料。百円硬貨3枚に限る)で購入し宛先を記入すれば、主催者が郵送手配する。
- 11 競技中に発生した疾病、傷害、事故等については応急措置は行うが、以後の責任は主催者側は一切負わない。
- 12 感染症の防止対策を十分に行い主催者が行う対策に従うこと。
熱中症予防の水分・塩分補給や冷却材などの準備・対策は各団体・個人で行うこと。
暑さ指数(WBGT)が31に達した場合は、競技日程を変更したり競技を中断・中止することがある。
- 13 プログラムに訂正がある場合は、プログラム訂正申出書(プログラム最後に添付)に必要事項を記入し受付に提出すること。

投てき器具の重さ

	クラス	砲丸	円盤	やり
男子	M-24 ~ M45	7.26kg	2.00kg	800g
	M50・M55	6.00kg	1.50kg	700g
	M60・M65	5.00kg	1.00kg	600g
	M70・M75	4.00kg	1.00kg	500g
	M80 ~	3.00kg	1.00kg	400g
女子	W-24 ~ W45	4.00kg	1.00kg	600g
	W50 ~ W70	3.00kg	1.00kg	500g
	W75 ~	2.00kg	0.75kg	400g